

I 類

論文問題

令和 8 年度施行 特別区職員 I 類採用試験【春試験】

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

- 1 論文の課題は 2 題あり、このうち 1 題を選択してください。
- 2 論文は解答用紙に記入してください。問題に記入しても採点しません。
- 3 解答時間は 1 時間 20 分です。
- 4 字数は 1,000 字以上 1,500 字程度です。
- 5 問題の内容に関する質問には、一切お答えしません。
- 6 問題を切り取ることは固く禁じます。
- 7 問題は持ち帰ってください。

特別区人事委員会

論文課題

2 題中 1 題を選択してください。

- 1 SDGs は、国際社会全体の持続可能な開発目標として、2030年を期限に「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むこととしています。

政府は、2016年に設置したSDGs推進本部において「SDGsアクションプラン」を策定しており、実効性のある取組が進められてきています。一方、特別区においても、2030年に向け、「誰一人取り残さない」持続可能な社会を見据え、施策を加速させていく必要があります。そのためには、企業やNPOなど様々な団体と連携した取組を推進していくことが重要です。

このような状況を踏まえ、SDGs達成に向け、特別区と様々な団体との連携による地域の課題解決について、特別区職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じてください。

- 2 近年、犯罪の巧妙化、多様化が進んでおり、刑法犯の認知件数は、令和3年に戦後最少となったものの、その後は令和6年まで前年を上回る状況が続いています。令和6年10月に警察庁で行われたアンケート調査でも国民の体感治安は悪化しています。

これに対し、国や警察などの関係機関は、特殊詐欺や闇バイトをはじめとした各種犯罪への総合的な対策を進めています。住民に最も身近な基礎自治体である特別区においても、地域の実情に合った地域防犯力強化の取組を進める必要があります。

このような状況を踏まえ、安全で安心なまちづくりに向けた防犯対策の強化について、特別区職員としてどのように取り組むべきか、あなたの考えを論じてください。

※選択した課題の番号を、解答用紙の
課題番号欄に、必ず記入してください。